

レアメタル・ニュース

2018年1~6月の記事索引

(右端は発行月日)

市場を中心とした分類

リサイクル	貴金属の相場高騰が評価額に影響—触媒資源化	6. 1
半 導 体	ウエーハは200, 300mmともに成長続く	1. 1, 8
	18年の単結晶見通し—新金属協会	3.16
	多結晶・ウエーハの17年販売はともに拡大続く	3.16
	ロームがSiC能力増強で25年にシェア3割へ	4.16
	多結晶Siは電力費の安い中国・内陸に移転進む	4.24
	中国の多結晶シリコン輸入は13%増	4.24
	国内の多結晶Siメーカー3社の決算と見通し	6. 1
	メモリーはNAND下落もDRAMなど増販続き26%成長	6.16
製造装置	17年度は2.5兆円で22%増え最高新記録	1.24
	韓国がメモリー投資で2.3倍に急増し成長をけん引	5. 1
	Q1は韓国が7割増え過去最高を更新	6. 8
電子機器	18年の電子情報産業の世界生産予測—JEITA	1. 1, 8
	AV・IT機器の18~22年予測—JEITA	3.16
	情報端末装置はインクジェット複合機などがけん引	4.24
電子部品	世界出荷は景気回復と円安で回復	3. 8
光 産 業	17年度出荷は太陽光を除き全般的に回復	3.24
磁性材料	省ネオジム焼結磁石をトヨタが開発	2.24
	17年の希土類磁石は1,005億円で10%増	3. 8
	信越化学がDyフリー母材から保磁力26kOeを達成	6. 1
	マグネクエンチが微細化でNdFeBボンド磁石の特性向上	6. 8
1次電池	藤倉ゴムがMg空気電池をソニー生保に納入	4. 1
2次電池	三井金属が全個体電池向け材料の研究開発	1.16
	17年のLIBは16.5GWで10%増	3. 1
	昭和電工が中国にLIB販売会社を設立	4.24
	全個体電池の研究開発—東工大菅野教授	4.24
	SAITECと藤倉ゴムがMg2次電池の試作品を完成	5.24
再生可能エネルギー	17年の導入実績はPVが成長をけん引—REN21	6.24
太陽電池	17年の総出荷量は5.9GWで9%減	2. 1
	Si単結晶の内需・海外生産が回復も総じて縮小続く	3. 1
	日本のQ1のPV出荷は26%減と低迷	6.24
風力発電	17年の導入量は169MWで13%減	2. 1
触 媒	高分子重合用や自動車排気ガス浄化用が好調	3. 1
	日本の内需は推定7.5万tで微増	3.16
	原料の消費実績は6品目がプラス成長	6. 1
	石油精製用が増加し自動車向けが減速	6.16
光触媒	BiVO <sub>4</sub> 系を用い可視光で高効率に水素、酸素を発生	2. 1
新機能・新技術	早大が世界初の手法でITOをフレキシブル化	2.24
超伝導	新金属協会が石狩市でエネルギー構想	1.24
工作機械	中国が産業高度化で爆買いし日米欧も好調	2.16
超硬工具	住友電工が4月受注分から製品価格を改定	2.24
	国内自動車生産に連動し切削工具が好調推移	3.16
	三菱マテリアルが値上げを発表	4. 1
	第1Qは切削工具や耐磨工具などがプラス成長	5.24
	不二越が価格改定を発表	6.24

耐火物	ジルコン系は上期に単価下落も下期は値戻し	3.16
ステンレス	世界生産は4,808万tで前年比5.8%増	4. 1
フェロアロイ	17年生産はフェロニッケルの落込み響き2年連続マイナス	5. 1
	フェロアロイの1~3月の輸出入	5.24
自動車	トヨタの17年HEV販売実績は152万台を突破	2. 8
粉末冶金	生産は自動車の増加で3年ぶりプラス成長	4.16
	非鉄粉末は銅粉が自動車分野のけん引で好調	4.24
金属3Dプリンター	金属積層造形の新事業が開始—JAMPT	1. 1, 8
非鉄金属	シリコンウエーハが3年連続で最高新	3. 8
貿 易	2017年の輸入実績は1.5兆円で23%減	2. 8
	2017年の輸出通関実績は7,338億円で14%増	2. 8
	第1Qの貿易総額は6,656億円で24%増	5. 8, 16
市 況	中国供給減でGe, In, Gaなどが上昇	3.24
	Niは需要好調, Coは投機買いが落ち着き一服	6.24
国際市況	2017年の国際金属の月別平均価格	2. 1
	1~3月の国際相場, ロジウムは上値探る	4.24
スクラップ市況	SUSとニッケルが反発しコバルトは暴落	1.16
	コバルト系とニッケル系が続伸	2. 1
	値上がり一服し横ばい気配に	3.16
	コバルトは上げ気配も, SUSやニッケルは下げ気配	4. 1
	続伸のコバルトが上げ気配続く	4.16
	コバルト系はさらに上げ気配続く	5. 1
	SUS先高感もコバルト下げ気配に	6.16
企業・業界団体大学など	鉄鋼は過剰能力削減のため各国が政府支援を停止	1.16
	3年ぶり2,000t回復も人手不足が顕在化—特殊鋼	1.16
	低炭素化社会へ向け省エネ技術で競争力強化—鋳鍛鋼	1.16
	国内市場頭打ちで新規需要創造狙う—アルミニウム	1.16
	企業間連携や人材育成, 品質管理に重点—粉末冶金	1.16
	17年は伸び悩みも今後は水素社会の実現に期待—触媒	1.16
	金価格下回り5年連続の販売増加—プラチナ宝飾	1.16
	エコイノベーション向け高機能材に期待—新金属協会	1.16
	Society5.0への取り組みを加速—JEITA, JEMA	1.16
	非鉄金属は17年相場が堅調で増収増益	1.24
資源の有効活用を訴える—タンモリ工業会	1.24	
輸送機器分野の軽量化に期待—マグネ	1.24	
車載や電池貯蓄のニーズが高く市場拡大続く—電池工業	1.24	
住友金属鉱山が東北大に共同研究部門開設	4.24	

元素別の分類 (ABC順)

アンチモン	需給均衡し相場は8,000~9,000ドル付近で横ばいか	4. 8
	日本の輸入量は金属横ばいも酸化物8%増	4.16
アルミニウム	17年の圧延品は内需堅調で206万tと増加	2.16
	粉末の生産実績は12,550tで8%増	3.16
ビスマス	中国の環境規制で大手がビスマス生産を停止	3. 1
	国際相場は旧正月後から1割安	6.16
	フェライトや触媒が回復し今年も需要は堅調	6.24
カドミウム	インド需要により年初から4割急騰	3.16
	主力のニカド電池はLIBの代替で大幅縮小が続く	4. 1
	国際相場は今年3月のピークから2割下落	6.24
コバルト	LIB生産実績はEV向けがけん引し増加	2.24
	国際相場はEV向けの投機買いが落ち着き調整局面に	6.24

	世界のコバルト生産量—CI	6.24	<b>セレン</b>	国際相場は年初比3割高と急騰し24ドル超	4.16
<b>クロム</b>	フェロクロムの対日基準価格は14%値下がり	2.1	<b>金属シリコン</b>	553は下げ傾向も多結晶向けなどは高止まりか	4.24
	中国需給のタイト化でFeCrの値上がり続く	5.1		日本の輸入はシリコンがけん引し14%増	5.1
<b>ガリウム</b>	パワーデバイスは大口径化で量産化目前—NCT	1.1, 8	<b>タンタル</b>	JXがスタルクのタンタル部門を買収	3.8
	20年にMOSFET量産化へ—FLOSFIA	2.1		中国スマホの減速でSAWフィルターが在庫調整	4.1
	国際相場は年初から急回復	2.16		鉱石相場は1年で2倍の100ドル到達	5.8, 16
	期待買い収束も相場は原料高が下支え	6.8		コンデンサ需要の好調は今年も継続	6.1
<b>ゲルマニウム</b>	カナダの生産トラブルをきっかけに相場が急反発	2.8	<b>チタン</b>	スポンジは航空機需要にけん引され大幅増加	2.16
	金属、酸化物ともに輸入量回復し縮小に歯止め	2.24		アメリカの輸入はスポンジ・スクラップともに増加	2.16
<b>インジウム</b>	中国のLCD増産と粗原料の供給減でタイト感続く	3.24		電力、PHEが堅調推移し4年連続プラス成長	3.24
	需要堅調も過熱感落着き、上げ局面が一服	5.1		アメリカ・EU向けを中心にスポンジ輸出急増	5.8, 16
<b>リチウム</b>	豪州鉱石が増産もかん水開発は遅れる	1.1, 8		国内2社の3月期決算	5.24
	チリの17年輸出が中国増・韓国減で横ばい	1.1, 8		展伸材は主力の輸出・国内ともに電力向けが落ち込む	6.16
	トヨタ・パナソニックが角型LIBで協業検討	1.1, 8	<b>酸化物</b>	出荷は中国品の値戻しで6年ぶりに20万t超え	5.1
	豊田通商がオロコブレ株式15%を取得	1.24	<b>タングステン</b>	APT, FeWともに需要堅調で高水準維持—AMJ西野氏	2.1
<b>マグネシウム</b>	タックトレーディング上島氏の18年価格予測	1.16		金属の国内生産実績はプラス成長に転じる	3.1
	FeSi価格上昇などによりじり高推移でさらに上昇も	2.1		粉末は国内自動車生産や中国向けが上げ材料	3.1
	フェロシリコン価格下落も小幅高	3.8		国際相場高騰も中国の精鉱生産回復が勢い止めるか	3.16
	17年の国内需要は添加材で堅調も構造材が低調	4.8		4~6月相場は中国次第でさらなる高値も—AMJ西野氏	4.1
	陝西省が環境査察で減産し原料コストも上昇	5.24		日本タングステンが細線をステントに販売強化	5.24
	内モンゴルと新疆の一部で生産停止	6.16		粉末の1~3月の生産実績は11%増	6.1
<b>マンガン</b>	鉱石の国際相場は高水準を維持	2.8	<b>バナジウム</b>	国際相場は中国市場のタイト化を背景に急騰	3.8
	シリコマンガンのインド輸出は4年ぶり増	4.8		ニオブ置換え懸念も鋼材向けの需要増に期待	3.8
<b>酸化物</b>	EMDは供給過剰も鉱石相場が高値維持か	6.24		日本は中国品を筆頭にFeV調達伸びる見通し	3.16
<b>モリブデン</b>	国際相場は大手減産を発端に高騰	1.24		ヨーロッパは中国品の調達量が減少	4.1
	金属の国内生産実績はプラスに転じる	1.24		五酸化バナジウムのQ1ブラジル輸出	4.16
<b>ニッケル</b>	今年は8.3万tの供給不足—住山予測	4.1		中国・韓国のQ1輸出実績	5.1
	LME在庫の減少続き、相場は17,000ドル目指す	6.8		FeVの日本のQ1輸入量は4割増	5.8, 16
	中国の鉱石輸入が禁輸緩和で増加基調	6.16	<b>ジルコニウム</b>	豪州鉱石が18%値戻し中国塩類は32%値上がり	3.24
<b>ニオブ</b>	CBMM世界販売が過去最高に到達する見通し	2.1		ジルコニア中間原料の中国輸出単価が値戻し	5.8
	CBMMがニオブカーバイドの新規用途開拓狙う	2.1		東ソーがイットリア安定化ジルコニアの能力を3割増強	6.16
<b>レアアース</b>	磁性材料の価格調整続くも年末にわずかに反発	1.16	<b>貴金属</b>	投資用プラチナ地金は4.2tの販売超過	2.1
	磁性材料の1月輸入価格が4~5ヵ月ぶりに反発	2.8		Ptは株価調整で上昇一巡し、Rhは上値うかがう	3.24
	磁性材料の2月価格は引合い強くなり高続く	3.8		阪和がウォーターバーク白金プロジェクトの権益取得へ	3.24
	17年輸入単価は6年ぶりに反発	4.1		ルテニウムの18年度上期の価格見通し	4.1
	17年国内需要は8%増加し4年連続で回復	4.1		イリジウムの18年度上期の価格見通し	4.1
	磁性材料の3月価格は上昇が続く	4.8		Pd相場はNiやAlと連動し露経済制裁で急騰後に反落	5.1
	金属の輸入価格は調整相次ぐ	5.24		Ptは供給過剰拡大し、Pdは不足感緩和—JM18年予測	6.1

### 日本学術会議公開シンポジウム 7月30日／東京・六本木

日本学術会議は、今月30日（月）の午後1～5時に東京・六本木の「日本学術会議講堂」（港区六本木 7-22-34）で公開シンポジウム「SDGs時代における資源開発後の鉱山環境対策のあり方」を開催する。持続可能な開発目標（SDGs）は、15年9月に開催された国連サミット「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で採択され、環境や健康、教育、ジェンダーなどさまざまな社会的責任を重んじた16～30年の15年間の国際開発目標。資源開発でもSDGsをみすえた取込みが不可欠となる中、日本を代表する専門家が現状の課題や今後の指針について講演や討論を行う（主催は日本学術会議のうち、材料工学委員会、総合工学委員会、環境学委員会、SDGsのための資

源・材料の循環使用検討分科会）。

○「企業責任はどこまで果たせば十分か～関係者間の合意形成が鍵」 安井 至氏（東京大学 名誉教授・持続性推進機構 理事長） ○「鉱山開発の重さ：持続可能な資源利用と鉱山閉山後の適正処理」 村上進亮氏（東京大学 准教授） ○「休廃止鉱山の持続的な環境管理に向けたグリーンレメディエーション」 保高徹生氏（産業技術総合研究所 主任研究員） ○「グリーンマイニングにジオミメティクスは貢献できるか」 笹木圭子氏（九州大学 教授） ○「総合討論」 司会：所 千晴氏（早稲田大学 教授） 参加者：講演者のほか、登坂博行氏（東京大学 名誉教授・地圏環境テクノロジー 社長）、富山眞吾氏（北海道大学 特任教授）、小原義之氏（日本原子力研究開発機構 課長）